

明るい未来社会を 子どもたちへ!

今こそ幼児教育への投資を



各国における就学前教育事情



日本

国公立幼稚園施設の割合：40.5%
私立幼稚園施設の割合：59.5%
小学校1学年児童数中の
幼稚園修了者：58.9%

平成16年5月1日「学校基本調査速報値」より

アメリカ

公立学校に付設した幼稚園に通う
5歳児在籍率：88.4%



文部科学省「教育指標の国際比較」(平成14年版)、
「諸外国の初等中等教育」(平成14年1月)より

中国

3～6歳児対象の幼稚園と3歳児未満対象
の託児所とがある。一般に保育・託児時
間が長いのが特徴。月曜の朝から土曜の
夕方まで子どもを預かることもある。



国際教育交流促進協会の各国情報より



ドイツ

3歳未満の子どもは保育園(Krippe)、3歳～5歳
の子どもは幼稚園(Kindergarten)に通園する。
幼稚園の就園率は約90%(ドイツ全体)である。
教会系の幼稚園に通う5歳児在籍率は87.2%で
ある。

イギリス

イギリスでは無償の就学前教育制度が確立されて
いる。機関としてはNursery School(2歳～5
歳未満)、Infant School(4歳～7歳)Nursery
Class(3歳～5歳未満)などがある。

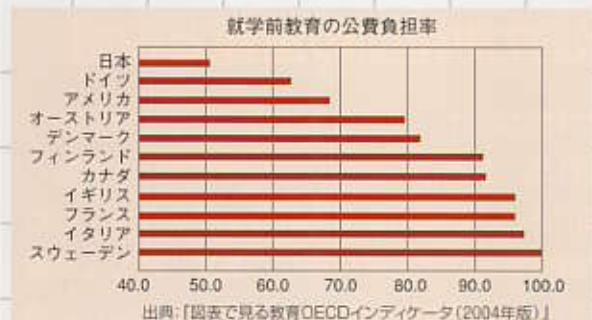


フランス

エコール・マテルネルと呼ばれる機関があり、義
務化はされていないが、9割以上の幼児が3年ま
たは4年の幼稚園教育を受けている、約90%以
上は公立であり、費用は無料である。

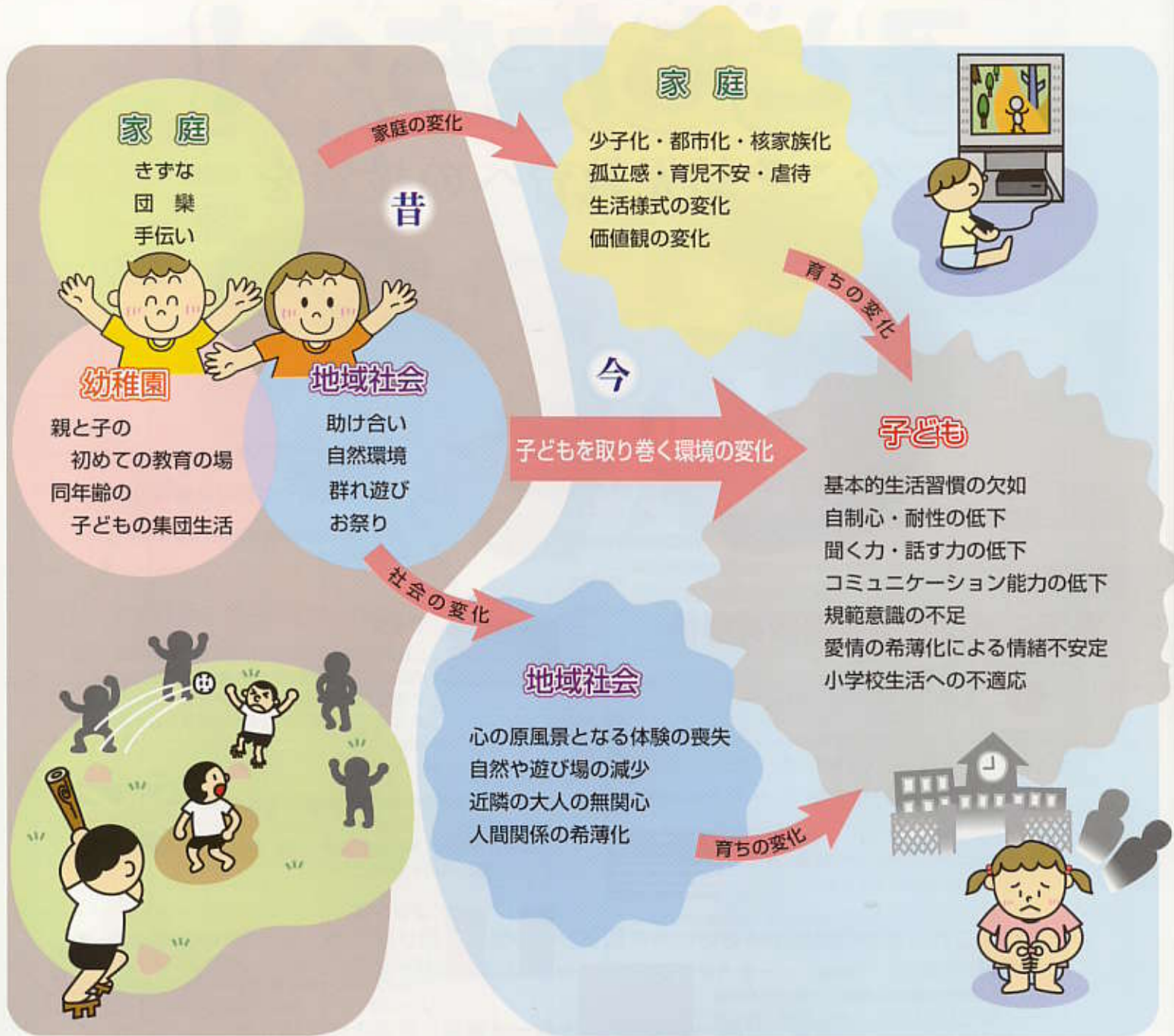
外務省「諸外国の主要学校情報」より

先進各国は、高い割合で公教育として「就学
前教育」を担っています。国家として幼児教
育の重要性を認識し、その責任を果たす意志
が明確であると読み取れます。



全国国公立幼稚園長会

あとの「後伸びする力」を育む



国公立幼稚園の意義と役割

幼稚園教育とは、幼児の主体的・自主的な活動である「遊び」を通して行われるものです。受験などを念頭におき、知識のみを先取りするような、いわゆる早期教育とは本質的に異なります。国公立幼稚園では目先の結果のみを期待するのではなく、幼児が人や物とかわかちかかわりの中で“生きる力の基礎”を育成し、「後伸びする力」を育むことを重視しています。

なぜ、幼児期における教育は大切なのですか？

A 人間の思考力や創造力を司る脳の前頭葉は、3歳前後で急速に発達することが生物科学・医学的に解明されています。その後、10歳までの間に穏やかに成長していくのですが、筋肉でも使わなければ衰えるように、脳も刺激しなければ退化します。だからこそ、幼児期にさまざまな感覚を十分に働かせる環境と喜怒哀楽の感情をコントロールする力の育成が大切なのです。

国公立幼稚園

家庭・地域社会・幼稚園等施設の三者による総合的な幼児教育の推進



幼稚園等施設

集団生活を通して家庭では体験できない社会・文化・自然に触れ、豊かさに出会う場

直接体験学習の場

幼児の健全な成長



国公立幼稚園のリーダーシップ



家庭

愛情やしつけを通してもっとも基礎となる心身の基盤を形成する場

精神的やすらぎの場



地域社会

さまざまな人との交流や身近な自然・文化・ことからのふれあいを通して、豊かな体験が得られる場

活動の拡がりの場

これからの幼児教育

幼児の生活の連続性及び
発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実

幼稚園では、毎日遊んでばかりですが、
いいのですか？

A 本来、幼児は好奇心旺盛であり、自分を取り巻く環境に積極的に働きかけていきます。また、自分から進んで遊びながら、知識や技術を獲得し自らの世界を拡げていきます。幼稚園では幼児が、ただ“遊んでいる”だけのように見えるかもしれませんが、幼児にとって夢中になって遊ぶことがとても大切なのです。教師は幼児が主体的に遊ぶように環境を構成し、幼児にとっての遊びが「学び」や小学校以降の「学習の基盤」となるよう指導しています。

国公立幼稚園の“地域の幼稚園”としての
役割はどのようなものがありますか？

A “幼児教育の専門家”として、蓄積された子育てのスキルを発揮し、各幼稚園において、創意・工夫された取り組みが推進されています。具体的には、地域の人々に幼稚園の施設や機能を開放したり、子育ての相談に応じたりと地域の幼児教育のセンター、つまり“地域の幼稚園”として“子育て支援”に努めています。